

第6学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年6月5日

対 象 第6学年2組 40名

授業者 H.D.

1 単元名 「グループで話し合おう」(全6時間)

2 単元の目標

- ・自分の意見や理由が伝わるような表現の工夫をしながら話す。
- ・お互いの意見や理由を関連付けて述べ合い、話し合っ一つにまとめる。

3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①話し合いの過程を振り返る活動を通して、みんなの意見を一つにまとめる話し合いの方法を理解している。	①自分の意見や理由が伝わるような工夫について考えている。 ②話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、話し手の意見と比較しながら、自分の考えをまとめている。 ③互いの意見を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	①話し合いの目的を理解し、よりよい話し合いにしようとしている。

4 単元について

(1) 新学習指導要領との関連

本小単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

思考力、判断力、表現力等

A 話すこと・聞くこと

(1) ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

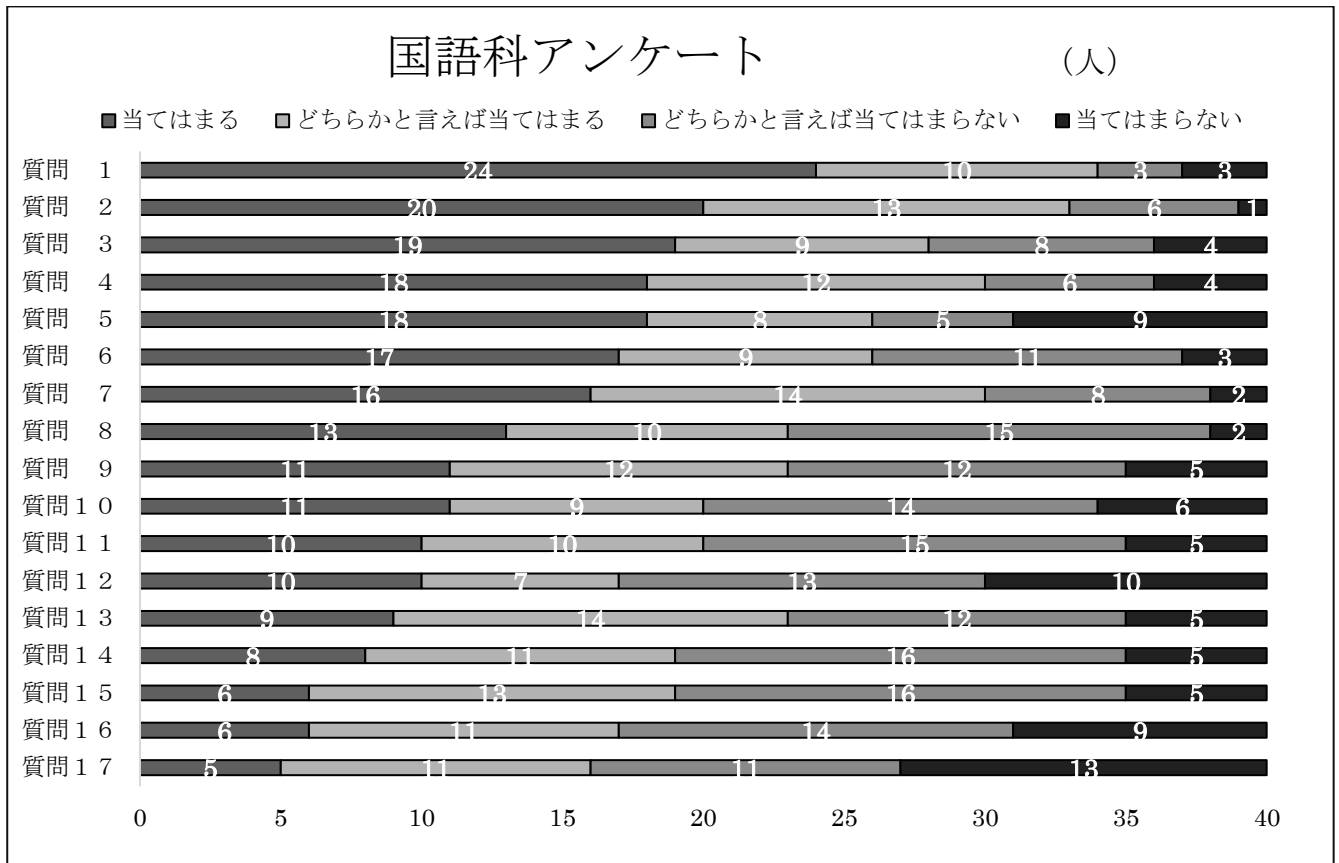
(2) 教材について

6年生になり2か月が経ち、入学式や運動会等の行事、縦割り班活動や挨拶の取組等の日常の活動を通して、最高学年としての意識と自覚をもち始めている。そこで、「学校をよりよくするために、クラスで取り組めることを一つ決める」という教材を設定し、さらに最高学年に向けての意識を高めたいと考えた。まずは一人一人が自分の意見を持ち、ロイロノートにまとめる。その時、自分の意見に添える理由として、写真や動画等を目的や状況に応じて活用する。グループのメンバーがそれらを持ち寄り、話し合う。ここでの話し合いは討論ではなく協議であり、納得す

る結論を導く話し合いを展開する。また本教材では、経験や好みで多様な意見が想定される。そのような条件の中で意見を一つにまとめていくためには、出た意見を分類して共通点や相違点を見付けることが大切である。グループでの話し合いの後、それぞれのグループでまとめた意見を持ち寄り、最終的にクラスの意見として一つにまとめる。全員が納得できる結論が導き出せるように、折り合いを付けていくことであろう。

(3) 児童の実態

アンケート実施（対象 第6学年2組40名 実施日5月）



質問番号は、「当てはまる」の回答が多い順に並べ替えているため、児童に行った際のアンケート順とは異なる。

- 【質問 1】国語の授業中、自分の意見や考えをもっている。
- 【質問 2】国語の学習は楽しい。
- 【質問 3】文章を書くことが好きだ。
- 【質問 4】物語文を学習することが好きだ。
- 【質問 5】読書は好きだ。
- 【質問 6】国語の学習は得意だ。
- 【質問 7】友達の発表を聞くことが好きだ。
- 【質問 8】国語の授業中、友達と考えを話し合うことが好きだ。
- 【質問 9】国語の授業中、自分の考えと友達のを、比べながら聞いている。
- 【質問 10】必要な情報を集めて、タブレットやポスターを見せながら、自分の意見を友達に伝える活動が得意だ。
- 【質問 11】国語の授業中、話し合いに進んで参加している。
- 【質問 12】国語の授業中、自分の意見や考えを発言できている。
- 【質問 13】説明文を学習することが好きだ。
- 【質問 14】様々な立場に分かれて友達と意見を出し合う活動が得意だ。
- 【質問 15】一つのテーマについて友達と意見を出し合う活動が得意だ。
- 【質問 16】国語の授業中、友達の意見に反論（反対意見を言うこと）することが得意だ。
- 【質問 17】みんなの前で話すことが好きだ。

「国語の授業中、自分の意見や考えをもっている」という質問に対して、85%の児童が肯定的に捉えている反面、「みんなの前で話すことが好きだ」という質問には40%の児童しか肯定的に捉えていない。6年生という発達段階もあるが、自分の考えはもっているのに発表するのは苦手だと感じている児童が多いことが本学級の大きな特徴であると考えられる。しかしながら、普段の学習では、クラス全員の前で自分の考えを発表することは苦手な児童でも、ペアやグループによる活動では活発に発言している様子が見られる。そこで、本単元では、自分の考えをもち、グループで話し合い、クラスで話し合うという、段階的な話し合い活動を設定した。

また「国語の授業中、自分の考えと友達の考えを、比べながら聞いている」、「一つのテーマについて友達と意見を出し合う活動が得意だ」という質問にはそれぞれ57%、47%の児童が肯定的に捉えている。どちらも本単元での話し合い活動に重要な力である。単元が終わったときに同じ質問をし、それぞれ肯定的に捉える児童が増えることを期待したい。

5 研究主題に迫るための手だて

【研究主題】

21世紀型の学力を育む学習方法の研究

～ICT機器の効果的な活用を通して～

<第6学年 目指す児童像>

相手や目的、状況を意識した上で学習資料を活用し、それを生かした表現ができる児童

(1) 教材・教具の工夫

- ・学級の全ての児童が同じ目線や経験値で話し合いができること、結論を一つにまとめる意識を高められること、多様な意見が想定されることから、「学校をよりよくするために、クラスで取り組めることを一つ決める」というテーマに沿って話し合う活動を設定した。

(2) 学習活動の工夫

- ・第1次で、児童は自分の考えをもち、ロイロノートにそれをまとめる。教師がそれら全てに目を通して分類し、第2次に向けて意図的なグループ分けをする。理由は、グループ内に同じ意見の児童が重複することで、話し合いが滞ることを避けるためである。
- ・4(3)児童の実態でも述べた通り、自分から発表することが苦手な児童でもグループでの話し合いであれば発表しやすいと考え、学習活動を、グループでの話し合い、クラスでの話し合いという順で設定した。また、グループ内に異なる意見の児童がいることで、話し合いがより活発になると考える。

(3) ICT機器活用の工夫

- ・自分の意見をもったら、それをロイロノートのテキストカードに書き込む。その時に、必ず理由も添える。理由はテキストカードでも良いし、写真や動画でも良い。意見と理由を線で結び、関連していることがひと目で分かるようにする。また、「取り組むと良いこと」を青いカードに、「取り組まないと困ること」をピンクのカードに書いて、これも線で結ぶことによって、意見や理由との関連を簡単に表すことができる。

- ・本単元では、「話し合いがうまくいくためのコツ」として「友達と自分の意見を比べて、共通点や違う点を見付けること」と指導する。ロイロノートのテキストカードを活用することで、友達や自分の意見を可視化でき、テキストカードを動かしながら思考を整理することが容易にできると考える。また、友達や自分の意見や理由の書かれたカードを見ながら、付箋のように並べ替えたり、鉛筆でするように線で結んだりする活動を通して、話し合いがより活発になることをねらう。

6 小単元の指導計画（全6時間）

時	○学習活動	◇支援・手だて【評価】
第一次	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習の見通しをもち、話し合いのよさなどについて考えよう。</p> <p>○これまでの話し合い活動の経験から、グループで話し合うことのよさや、グループで話し合っとうまくいったとき・失敗したときの気持ちについて考える。</p> <p>○学校をよりよくするために、クラスで取り組めることを一つ決めるという意欲をもつ。</p> <p>○学校をよりよくするために、今まで委員会やクラスでどんなことをしてきたのかを振り返る。</p>	<p>◇グループで一つの結論にまとめることの難しさや、うまくいくための方法などを意識させる。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分の意見をもち、説明の方法を考えよう。</p> <p>1、 2、 3</p> <p>○学校をよりよくするために、クラスで取り組めることを一つ考える。</p> <p>○自分の意見や理由となる材料（図や絵、文章、写真、動画等）を用意する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">1人1台</div> <p>○ロイロノートのテキストカードを使って説明の準備をする。[意見・理由（白）、取り組まないと困ること（ピンク）、取り組むと良いこと（ブルー）]</p> <p>○テキストカードを、グループごとに指定された資料箱に入れる。</p>	<p>◇情報モラル教育の一環として、写真や動画を示す時に、個人や学級を特定できないようにすることを指導する。</p> <p>◇テキストカードを使った話し合いのイメージをもたせるため、別のテーマを扱った例を示す。</p> <p>◇黒板にテキストカードと同じ色の画用紙を掲示し、きまりを示す。</p> <p>【思①】【主①】</p>

<p style="text-align: center;">第二次</p>	<p style="text-align: center;">4 (本時)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">グループで話し合いを行い、みんなの意見を一つにまとめよう。</p> </div> <p>○前時までに学習した、話し合いの方法や効果的な写真・動画等の見せ方などについて確認をする。</p> <p>○4人グループに分かれ、資料箱からメンバーのテキストカードを取り出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80px; text-align: center;">1人1台</div> <p>○テキストカードを活用して、同じ意見や内容の似たカードを繋いだり整理したりしながら、クラスで取り組めることについて話し合う。</p> <p>○話し合いを通して、グループごとに4人の意見を一つにまとめる。</p> <p>○クラス全体で話し合いを振り返る。</p>	<p>◇グループ内に同じ意見の児童が重複しないように、事前に教師がグループ分けをしておく。</p> <p>◇4人それぞれの児童が、互いの意見を関連させながら話し合いをするように指導する。</p> <p>◇無理に一つにまとめなくてもよいことを伝える。</p> <p>◇あまりに安易に決めてしまう場合は、反対意見を立てるように促す。</p> <p>◇どんな意見が出て、どのように意見(テキストカード)を整理して、一つの結論に至ったのかを振り返るように指示する。</p> <p>【思②】</p>
<p style="text-align: center;">第三次</p>	<p style="text-align: center;">5、 6</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">クラスで話し合いを行い、みんなの意見を一つにまとめよう。</p> </div> <p>○前時の話し合いで、10グループそれぞれが、意見を一つにまとめたことを確認する。</p> <p>○一人一人が、資料箱から、話し合いでまとめた10のテキストカードを取り出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80px; text-align: center;">1人1台</div> <p>○テキストカードを活用して、同じ意見や内容の似たカードを繋いだり整理したりしながら、クラスで取り組めることについて話し合う。</p> <p>○話し合いを通して、各グループの意見を一つにまとめる。</p> <p>○クラス全体で話し合いを振り返る。</p> <p>○単元を通して、うまくいったことやそうでなかったことについて意見を出し合い、整理する。</p> <p>○その意見をどのようにこれからの学習に生かせるか話し合う。</p>	<p>◇10の意見は重複していてもよいことを伝える。</p> <p>◇無理に一つにまとめなくてもよいことを伝える。</p> <p>◇みんなが納得する結論になったかどうかや、意見を一つにまとめることの良さや難しさ等について振り返るように指示する。</p> <p>◇日常生活においても、意見がまとまる話し合いができるように、意識付ける。</p> <p>【知①】【思③】</p>

7 本時の指導（4時間目／全6時間）

(1) 目標

- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の意見と比較しながら、自分の考えをまとめる。

(2) 授業を見る視点

① 教科の観点

- ・友達と自分の意見を比べて、共通点や違う点を見付けながら話し合いをしていたか。

② ICT活用の観点

- ・ロイロノートのテキストカードを使ったことによって、話し合いは円滑かつ活発になったか。

(3) 本時の展開

	○学習活動 T：教師の発問 C：予想される児童の反応	◇指導・支援 ☆ICT機器活用のポイント 評価【評価規準】(方法)
導入	<p>○前時までに学習した、話し合いの方法や効果的な写真・動画等の見せ方などについて確認をする。</p> <p>T：話し合いがうまくいくためのコツは何ですか。</p> <p>T：写真や動画はどうやって見せれば話し合いの助けになりますか。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇理由を添えて自分の意見を言うこと、友達と自分の意見を比べて、共通点や違う点を見付けること等についておさえる。</p> <p>◇自分の意見に添える理由として見せること、自分の意見をより詳しく説明したい時に見せること等についておさえる。</p>
	グループで話し合いを行い、みんなの意見を一つにまとめよう。	
展開	<p>○4人グループに分かれ、資料箱からメンバーのテキストカードを取り出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">1人1台</div> <p>○テキストカードを活用して、同じ意見や内容の似たカードを繋いだり整理したりしながら、クラスで取り組めることについて話し合う。</p> <p>C：ぼくはかかとそろえができる学校にしたいな。ほら、この写真を見ても分かるように、乱れているクラスもあるんだ。</p> <p>C：●●さんと▲▲さんは二人とも「取り組まないと困ること」に「危ない・けがをする人が出る」と書いているわ。これは共通点ね。</p> <p>C：■ ■さんと◆ ◆さんは二人とも「あいさつができるようにしたい」という意見だけど、理由が違うね。詳しく話を聞きたいな。</p> <p>○話し合いを通して、グループごとに4人の意見を一つにまとめる。</p>	<p>◇グループ内に同じ意見の児童が重複しないように、事前に教師がグループ分けをしておく。</p> <p>◇4人それぞれの児童が、互いの意見を関連させながら話し合いをするように指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 話の内容を捉え、話し手の意見と比較しながら、自分の考えをまとめたり、まとめたことを基に自分の考えを再構築して話したりしている。【思考力・判断力・表現力等】(観察、ノート)</p> <p>B 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、自分の意見と比較しながら、自分の考えをまとめている。【思考力・判断力・表現力等】(観察、ノート)</p> </div> <p>◇無理に一つにまとめなくてもよいことを伝える。</p> <p>◇あまりに安易に決めてしまう場合は、反対意見を立てるように促す。</p>

まとめ	<p>○クラス全体で話し合いを振り返る。</p> <p>T：どんな話し合いの仕方したら、4人の意見を一つにまとめることができましたか。</p> <p>C：友達と自分の意見の共通点や違う点を見付けるように気を付けました。</p> <p>C：自分の意見を押し通すのではなく、友達の意見をよく聞くようにしました。</p>	<p>◇どんな意見が出て、どのように意見（テキストカード）を整理して、一つの結論に至ったのかを振り返ることをおさえる。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

(4) 板書計画

	理由 白	意見 (取り組み たいこと) 白	理由をそえて自分の意見を言う 共通点やちがう点を見つける	話し合いのコツ	グループで話し合おう めあて グループで話し合いを行い、みんなの意見を一つにまとめよう。
	取り組まないと いと困ること ピンク	取り組むと 良いこと 青	ロイロノート それぞれのグループの資料箱から テキストカードを取り出す。	テキストカードの種類	